HITACHI
Inspire the Next

遠隔監視と予兆診断により、
安定稼働と計画的な保守整備をサポートします。



exiida 遠隔監視・予兆診断※1

病　院　編

※1「exiida予兆診断」は「exiida遠隔監視」の契約が必要です。予兆診断は冷凍サイクルに起因するものに限ります。

「exiida」は日立の空調IoTソリューションの総称です。
「exiida遠隔監視・予兆診断」は冷凍・空調機器をインターネット上の当社クラウドサーバーへ接続し、膨大なデータを蓄積・分析することでさまざまなサービスを提供します。
これらのサービスは、お客さまの設備に関する維持管理コストの抑制をサポートします。

遠隔監視の効果

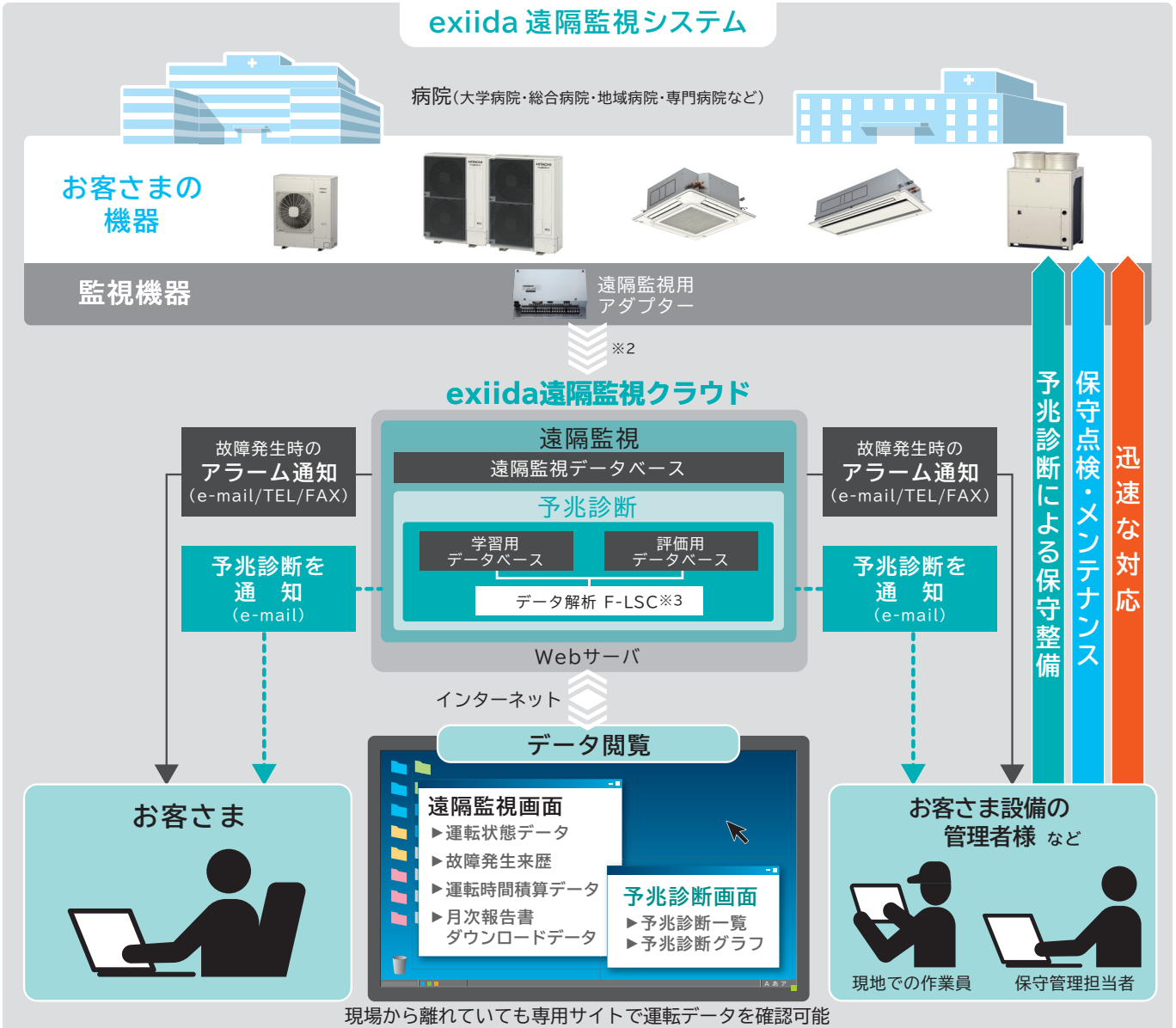
迅速な対応
運転状態を24時間監視し、故障発生時はすぐにお客さまへ通知します。また、直前の運転データを確認することができ、迅速な修理が可能となります。

設備管理の省力化
運転データをデータベース化します。運転状態の記録管理など、設備管理の省力化が図れます。

予兆診断の効果

事業機会の損失抑制
予兆診断技術により、故障につながる変化を検知。状態基準での予防保全を行うことで不稼働時間が短縮され、事業機会の損失が抑制できます。

維持管理コストの抑制
予兆診断の結果にもとづく適切なタイミングで保守整備を実施。これにより、重故障化を抑制し、維持管理コストを抑制できます。



現場から離れていても専用サイトで運転データを確認可能

＊推奨ブラウザ：Internet Explorer® 11以降。Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※2 セキュリティ対策として閉域網通信を利用。※3 F-LSC（Fast-Local Sub-space Classifier）：高速局所部分空間法。

課題　医療機器に関わる冷却装置、患者さま・医療従事者さまの滞在エリアで空調機器が突然故障すると…

医療設備： MRI、CTなどのさまざまな重要設備において…

設備が停止し、検査等が行えない ▶ 予定していた検査などが実施できず、治療や手術の遅延につながる可能性が考えられます

患者さま・医療従事者さま： 滞在エリアの空調が止まることで…

患者さまの移動など余分な業務負担が発生し、医療従事者さまの体力・精神的な負担が増加 ▶ 空調維持の困難に加え、人的リソースが不足することで患者さまへの十分なケアが難しくなる可能性があります

導入

予兆診断

日立独自の解析手法（F-LSC）を用いた予兆診断の導入により冷凍サイクルに関する故障につながる変化※1を検知。

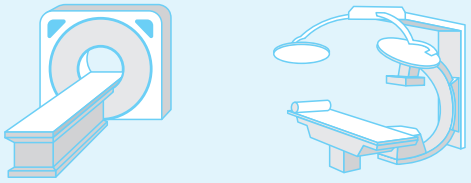


※1 圧縮機故障、冷媒漏えい、電磁弁故障、膨張弁故障等の冷凍サイクルに起因するものに限ります。（電気部品の故障や突発的な故障は除きます。）

解決

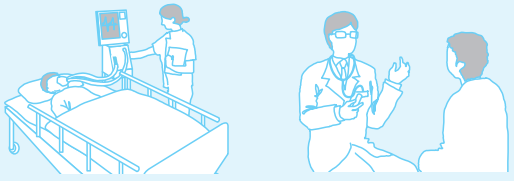
療養に専念できる医療環境の安定的な提供

医療設備の冷熱・空調機器の安定した稼働



空調機器の故障による重要設備（MRI、CT、集中治療室、手術室など）への影響を回避し、計画的な検査・治療・手術を行うことができます。

患者さまが安心できる診療体制の提供

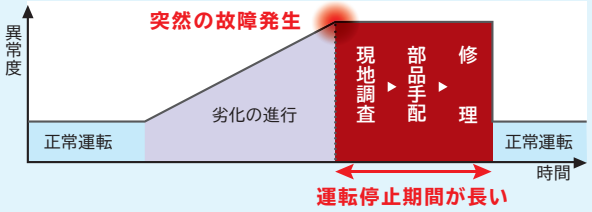


安定した空調環境を作り出すことで、患者さまに安心して治療に専念できる診療体制を提供します。医療従事者さまには作業の効率性を維持し業務に集中できる職場環境を提供します。

突然の故障による医療環境への影響を最小限に抑える

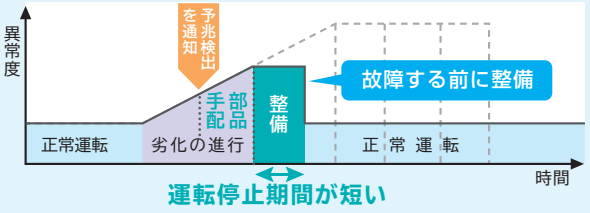
導入前

機器の劣化が進行し、故障にいたる場合でも、故障発生後の対応となるため**不稼働時間が長くなります。**



導入後

予兆診断により劣化の進行を検知。計画的な整備の実施により不稼働時間の短縮が図れ、**運転停止の影響を低減**できます。



exiida遠隔監視、予兆診断の利用に際しては、事前契約（有償）が必要となります。サービス料金は遠隔監視アダプターの台数、監視対象機器の種類や数量により異なります。機器の補償内容、予兆診断対象機器、接続台数など詳細については、当社営業窓口までお問い合わせください。

○ 本システムは、疾病の診断、治療、もしくは予防を目的とする医療機器ではありません。

exiida遠隔監視・予兆診断 対象機種

最新の対応機種情報に関しては、
日立販促支援サイト「検索の達人」で検索可能です。
日立販促支援サイト「検索の達人」
https://www2.hitachi-gls.co.jp/

日立グローバルライフソリューションズ株式会社　https://www.hitachi-gls.co.jp/
制作・発行：2021年3月　EX-008P